



館長だより

山形県産業科学館

令和7年4月19日(土)

発行 館長 加藤智一

大阪・関西万博に行ってみました その2

万博の大屋根リングから会場全体を見渡せば、忘れてはいけないのが commons A から F と書かれた建物。これはというと、大きなパビリオンを建設して、国力や技術力を誇示できない、数多くの小さな国々が、頑張って出展してくれている場所です。中には産業科学館の企業ブース3つ位のスペースしかない国も多くありましたし、担当しているスタッフも1名だけなんて所もざらにあるのです。しかし、そこが面白い。中央アジア、アフリカ、中南米、太平洋の島々から来てくれた皆さん（それにしても日本語が上手）と、ワンツーマンで話ができるなんてこと、そうそうあることではありません。貴重な体験をありがとう。お国の英雄の話や特産品、独特な香り、文化の話などとても興味深く知ることができました。派手な演出や VR 体験も良いけど、こういう体験こそが万博の良さなんだろうと実感しております。

さて話は会場内での食に移ります。一言で言えば、すべてが高い。旨いけど。何回か行くつもりで計画されている方でしたら、お弁当持って行って、大屋根リング下の休憩所で食べるなり、天気の良いければウォータープラザ前の海岸通りのベンチに腰掛けて休憩する方がよろしいのではと思った次第。私は、どうせ一回限りだと割り切っていたので、「近大マグロ」食べましたけど。えらい高い。けど旨かった。

この日は、午後から風が出てきて、雨も結構な勢いで降り出したので、楽しみにしていたウォータープラザでのショーも中止となり、グジョグジョになりながら、オーストリア館に入り、音楽で心を満たし、スイス館に行って「アルプスの少女ハイジ」に導かれながら、ロボティクスや人工知能などスイスの革新性と創造性を体験し、10 時間にわたる徒歩による世界旅行は終了となりました。全体の 1/3 も廻れていませんが、体力的には限界。

最後に、全体を通しての感想とアドバイス。どの会場に行っても VR 技術が展示の主流。館内は暗い所が多いので、足元注意をお願いします。まずは事前予約ができる所をおさえておいて、万博会場に入ったら、当日予約できる場所にまっしぐら。まずおさえてしましましょう。自由入館できるところも、結局入口で待たされるので、帽子や傘は必須。できれ

ばモバイルバッテリーも準備しておいた方がよろしいかと思います。会場内はとにかく広くて歩くので、万全の体調で臨んでください。健闘を祈る。

